

松ぼっくり

◆国松石材株式会社

発行所／国松石材株式会社

創業地 福岡市博多区下呉服町8-35
 平尾店 福岡市中央区平和3-12-27(平尾霊園下)
 TEL 092-401-4194/FAX 092-401-4189
 工場 福岡市東区松田3-16-12
 TEL 092-629-1189/FAX 092-629-2043
 ホームページ <http://www.kunimatu.com>

2012年 秋号

携帯電話のバーコード読み取り機能で「この図」→を撮影すると、携帯版ホームページ内の会社概要から、地図をご覧ください。



福岡発☆
名物一家

磯野家の故郷



平成二十四年夏、新天町の飾り山に『サザエさん』が出現しました。なぜ博多祇園山笠に？国民的人気を誇る「長寿番組『サザエさん』。実はこの古き良き一家、福岡の地で発案されたのです。



↑平成24年博多祇園山笠 新天町の飾り山にサザエさん出現。

●福岡育ちの『サザエさん』

原作者長谷川町子さんは、一九二〇年佐賀県多久市にて三人姉妹の次女として生まれ、幼少期を福岡の四十四川(渡辺通り三丁目)で過ごします。春吉小学校へ通う、絵画の好きな子でした。一九三〇年には西新に引っ越し、福岡高等女学校(現福岡中央高等学校)へ進学します。一九三四年、父親の死をきっかけに叔父を頼って東京へ移り、山脇高等女学校(現山脇学園高等学校)に転入。『のらくろ』作者の田河水泡^{たがわすいまくら}に師事しました。そして十五歳で「少女

倶楽部」掲載の『狸のお面』でデビュー。一九四四年、第二次世界大戦による戦火を避け福岡に戻り、西日本新聞社の絵画課に勤務して挿絵などを担当。終戦の翌日までお勤めしました。

漫画『サザエさん』は一九四六年四月二十二日、西日本新聞社から独立創刊された「夕刊フクニチ」に登場します。戦後の平和や自由、未来への展望が開ける幸せの中、町子さんは妹と一緒に百道の海岸を散歩しながら、磯のサザエ、ワカメ、カツオ：とたくさん構想を練りました。登場人物がみんな海産物の名前なのはそのためです。やがて町子さんは再び上京することを決め、サザエさんの結婚を機に連載は終了します。

ところがその後、もっと続けて欲しいという読者からの要望に応じて復活漫画の舞台も東京へ移り、マスオさんとタラちゃんが登場します。一九四九年十二月からは全国紙である朝日新聞に移り、一九七四年二月二十一日に終了。二十八年間にわたり六四七七回掲載されました。

町子さんは戦後の漫画界に巨大な足

跡を残し、一九九二年に心不全のため七十二歳で他界。同年、女性では美空ひばりさんについて二人目、漫画家では初の国民栄誉賞が贈られました。

●『サザエさん通り』誕生

現在の西新三丁目にあった長谷川家。当時はまだ北側のシーサイドももち地区は埋め立てられていなかったため、すぐそばに海岸線がありました。市民に親しまれたその百道海水浴場こそが、『サザエさん』の故郷といえます。

そして二〇一二年五月二十七日、福岡に「サザエさん通り」が誕生。この名称は東京都世田谷区桜新町に次いで全国で二ヶ所目となります。



↑よかトピア通りに面した百道浜橋西詰付近(西新2丁目)。

看板のサザエさんは、夕刊フクニチ掲載当初の顔をしています。



↑早良区西新の脇山から北に向かって磯野広場まで550m～西方向に350m～福岡市博物館と福岡市総合図書館の間の道を福岡タワーに向かって700m(=全長1.6Km)。

↓磯野広場：2007年(財)長谷川町子美術館の賛同を得て、早良区西新通り交差点の緑地に設置されました。「サザエさん発案の地」の記念碑が建っています。



町名散歩

第二十三回

西新町

佐賀市街から三瀬峠を越えて、早良街道を北上すると、福岡市西部副都心西新に至ります。自由と活気溢れるアジア色豊かな街であり、福岡随一の文教地区としても知られる西新。さて、その原点を探ってみましょう。

元寇の遥か昔、荒涼とした干潟に往來の足跡が多くあったという百道原に、元和四年（一六一八）黒田長政公は湾岸の町人一軒一軒に小松を植林させ、美しい百道松原を形成しました。

そこへ寛文六年（一六六六）三代藩主光之公の産土神を、福岡藩西総守護紅葉八幡宮として早良郡橋本村から遷宮します。すると城下町西外れだった『新西町』地帯が門前町として賑わい始め、いつしか『西新町』と呼ばれるようになりまし。さらに地行から藤崎方面へと唐津街道が走り、佐賀方面、福岡城南方面へと方々に伸びる複数の道の結節点として栄え、交通の要衝となつてゆきます。

元禄の頃には、紅葉八幡西側の松原地帯に武家屋敷が増え『新屋敷』と呼ばれ始めます。明治三十三年（一九〇〇）大名町にあった黒田家の私塾修猷館が新屋敷へと移設。江戸初期から海外の

学問を導入してきたこの旧藩校Ⅱ現県立修猷館高等学校は、日露戦争講和に活躍した金子堅太郎（伊藤内閣農商務相・司法相）、広田弘毅（外務大臣・第三十二代内閣総理大臣）を輩出しました。金子は、福岡の子弟に「将来国家有為の人物になるという決心を以て学ばれんことを希望して」一時途絶えた母校を「自らの生みの親」と称し再興。その校風は今でも文武両道・質朴剛健、校訓・校則は無用とのこと。流石です。

西新町は、大正十一年に早良郡から福岡市に編入した後、昭和の空襲被害もほとんど受けず、戦後の区画町名改正で西新、祖原、百道、高取、藤崎に分かれます。現在、旧路面電車城南線の終着点であるプラリバ前から、西に伸びる西新商店街は、旧唐津街道にあたります。

「買ってかんね？」リヤカー部隊のお母さんたちの笑顔にホッ。周囲には蜂楽饅頭、むっちゃん万十、あま太郎など、小腹に優しい名物店も沢山。街は今日も人や道を結びつけ、温かく強く、学生たちを育み続けています。

◆紅葉八幡宮：一六六六年当初の遷宮先は、現在の西新パレス（西新二丁目）一帯。明治四十三年には北筑軌道に境内を譲り、大正二年現在の地に遷宮。（アクセス：早良区高取一丁目／地下鉄藤崎駅より徒歩五分）
◆西新エルモールプラザ：商業施設。旧西新岩田屋（現在は頭山満（一八五五）／一九四四／自由民権運動家・玄洋社総帥）の生家跡。（アクセス：早良区西新四丁目／地下鉄西新駅）

あとがき

西新岩田屋、懐かしい響きです。当時は七階のレストランや屋上プレイランドから百道の海上が望めました。まだ見えますように。〈設計課：山室牧子〉

三丁目の徒然日記

よつご小笹小学校！の巻

六月のある日のこと。梅雨空を吹き飛ばしてくれるかのような、子どもたちの元気な声が平尾店に響きました。

声の主は、小笹小学校三年生の生徒さんたち。総合的な学習見学「小笹のすてきな人大発見」のため会社訪問にいらつしやいました。

展示場のお墓やたくさんの石製品に、目を輝かせるみんなの姿がとても印象的です。質問コーナーでは、次から次に手が挙がり積極的な姿も窺えました。

こちらの面々は、引率の先生に代わって先生となった森課長（写真③）、石を叩く実演をした中西さん（写真④）、子どもたちの容赦ない質問に回答した高田さん（写真⑤）。



小笹小のみなさん、「小笹のすてきな人大発見」は発見できましたか？



写真⑥：数日後に届けられた、子どもたち自筆の御礼の手紙！

ありがとうございます。とっても励みになったよ。

あとがき

一時間という短い時間でしたが、子どもたちにとっても充実した時間となりました。これから一日一日、大人へと成長を重ねていく子どもたち。いくつになっても、ご先祖様や家族との絆を大切に。―〈お客様係：小田明子〉

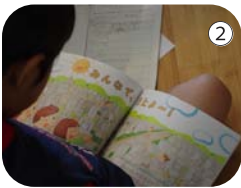
写真①：手加工用の道具を使用して、石を叩く作業を実践中。

うまく叩けたかな！？



写真②：絵本『ゆらちゃんのおはかまいり』をプレゼント。

家族そろってお墓参りに行ってくださいね。



筆跡アート

～fudemoji-art～

- ご覧の実物葉書を抽選で1名様にプレゼントいたします。
返信用ハガキにご希望の旨をお書き添え下さい。
(作品の転用・転売はお断り申し上げます。)
- 家名・好きな言葉を揮毫して墓石や石碑に彫刻しております。ご用命の際は、担当のお客様係までご相談ください。

作品#008 『円満』



よく「家庭円満の秘訣は何ですか？」という質問を耳にします。『円満』には「豊か・穏やか・完全に満ち足りる」という意味があります。完全とまではいかなくても、相手を思いやり感謝と敬意を持った豊かな関係が築ければ、お互いが気持ちよく過ごせて『円満』になれるような気がします。

そんな家庭をいつか持ちたいと妄想しつつ、今回は人の姿をモチーフとして、楽しく書いてみました。 <製品課文字担当：橋口由佳>

九重「扇ヶ鼻」にて一句!

- ◎山頂の 写真撮影 聖五月
-----松本ヤチヨ様
 - ◎恐々と 大岩越ゆる 汗冷えし
-----大坪ゆかり様
 - ◎扇ヶ鼻 夏うぐひすの 鳴き渡る
-----大穂 和子様
- 隔月刊俳誌「手」46号より/主宰：松本ヤチヨ様-



9/22(土)~23(日)の2日間 秋のお彼岸感謝祭

営業時間 9:00~17:00 定休日無し

会場：国松石材平尾店 駐車場(屋内トイレ有)

第8回初夏のハイキングのご報告



《頂上でお弁当後に一枚》

今年5月19日(土)、お客様35名、国松3名、山案内柵シェルパ1名の総勢39名で、九重連山一角の扇ヶ鼻に挑戦してきました。途中鎖を使って岩を登る本格的なコースでしたが、無事下山♪帰りには「九重観光ホテル」の温泉で疲れを取り、お土産を買っての帰福。ご好評につき、秋も開催いたします!

プレゼント 当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々
が当選されました。

- ①JTB商品券5,000円分
山平孝雄様、他3名様
- ②横綱白鵬錦絵バスタオル
小山康雄様、菅 正隆様
- ③一ノ蔵発泡清酒すず音300ml
山本富美様、他2名様
- ④ばんぎや博多献上(お菓子)
渋木博隆様、他9名様
- ⑤ロクシタンの桜ハンドクリーム
寺田兵吉様、他5名様
- ⑥笹崎宮花庭園入場券
三宅碧子様、他ペア4組様
- ⑦大分県産塩麴(調味料)
松成春子様、他4名様
- ⑦書作品#007『ころろ』
兼田ひとみ様

お墓についての素朴な疑問やご相談ごと、新聞の感想など、同封の返信ハガキにてお寄せください。一つ一つ大切に拝読させていただきます。お墓の点検事のご記入もお忘れなく!
(※お便りコーナー：2ページへ)

第9回 松ぼっくり秋のハイキングのお誘い -九重連山散策：男池～がくし水～ソババツケ-

開催日：平成24年11月10日(土)

コース：JR博多駅～バス移動～九重散策～バス移動～JR博多駅
午前8:00 午後5:00

歩行時間：往復2時間半(途中昼食が入ります)傾斜は緩やかで山頂はありません。

参加費：4,000円(税込)

募集人員：38名(※応募者多数の際は、今回から抽選とさせていただきます。)

お申込み：同封の葉書にてお申し込み下さい。

※参加人数と連絡がつくお電話番号を必ずお知らせ願います。

(お申し込みの方全員に、抽選結果とキャンセル待ち状況をご連絡さしあげます。)

締め切り：平成24年10月10日(水) 必着

お友達、ご夫婦、ご家族お誘い合わせの上、ふるってご参加くださいませ。

お問合せ：☎ 0120-245400 担当：高田美穂 / 中西和磨